

平成30年度 大田市社会福祉協議会事業報告

1. 事業概要

全国的に人口減少と少子高齢化の急速な進展、孤立や貧困問題が深刻化する中、大田市においても、生活不安を抱えている世帯への支援や困りごとを受け止めるセーフティネットワークの構築と、それらの状況や課題をわがことと捉える地域づくりが必要となってきました。さまざまな生活のしづらさを抱えているにも関わらず、地域で孤立している人や、複合的かつ多様な問題を抱えているがゆえに必要な支援につながっていない人の増加など、社協が果たす役割がこれまで以上に求められる中、解決へ向けた支援やしきみづくりを進めて行くため、大田市より「地域福祉支えあい推進事業」を受託し、多機関協働総合的な相談体制づくりや地域でのネットワークの構築に取り組みました。

地域住民に対する個別支援としては、自立相談支援事業での包括的な相談支援や生活支援による世帯の自立の助長、福祉サービス利用援助事業や法人後見事業及び大田市成年後見支援センター事業等権利擁護の推進について、民生児童委員をはじめとする地域の様々な関係機関・団体と連携し、取り組みを行いました。

また、近年、国内において自然災害が多発する中、昨年4月に大田市を震源とした島根県西部地震が発生し、大田市東部を中心として大きな被害が生じました。本会では、復旧復興のため災害ボランティアセンターを開設し、延べ約800件（3月末日現在）の相談に対応し、ニーズに対して延4,163人のボランティアにより活動を実施しました。センターの運営においては、民生児童委員協議会をはじめとして、地区社協、福祉施設などの市内の関係機関・団体のほか、県内外の多くのみなさんのご協力により実施することができました。さらに、9月10日にセンターを閉鎖した後も、被災者からの活動のニーズや生活での困りごと相談などに社協として関わり続けていくため、ボランティア活動の継続のほか、暮らしの困りごと・悩み事を受けとめる「ふくしよろず相談窓口」を開設し、当事者だけでの解決が難しい複雑な課題を一人ひとりに寄り添いながら解決に向けた支援を行いました。

地域においては、住民主体の支えあいの体制づくりとして生活支援体制整備事業を推進し、地区社協、民生児童委員の他、自治会やサロンなどの地域住民組織の連携により地域の特色を活かした事業運営やスタッフの人材育成など地域と連携して取り組みました。平成30年度は新たに5地区に協議体が設置され、3月末日現在市内17地区で高齢者通いの場づくりを中心とした事業に取り組まれています。

このほか、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきながら「第2次大田市地域福祉活動計画」に基づき事業を推進しました。

2. 実施事業

推進目標1 住民参加による地域福祉活動の推進

(1) 地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進

◇地区社会福祉協議会会長会の開催

- ・開催日時 平成30年5月1日（火）
- ・会場 大田市民センター 4階
- ・主な内容 大田市災害ボランティアセンターの活動状況について

◇第1回地区社会福祉協議会連絡会議の開催

- ・開催日時 平成30年5月15日（火）
- ・会場 大田市民センター 4階
- ・主な内容 (1)行政説明
(2)災害ボランティアセンター活動状況について
(3)平成30年度大田市社協事業計画について
(4)平成30年度大田市社協補助・助成事業及び交付金について

◇地区社協活動支援事業

地区社協が実施する地域福祉事業を円滑に実施できるよう支援することと併せ、地区の事業活動に係る経費の助成について、従来の地域ふれあい交流事業、地域研修事業を活動支援事業として1本化し、地区の実情に合せた活用しやすい助成事業とした。

- ・申請地区 27地区社協
- ・実施内容 (1)各地区社協と地区担当職員が連携して地域活動に関する研修会を実施
(2)異世代交流、友愛訪問活動、サロン活動支援、配食事業、伝統・文化継承活動などの地域活動に係る事業経費の助成

◇福祉委員活動の推進

「福祉委員活動のてびき」を活用し、地域での研修や会議等において福祉委員活動の啓発や共有を図った。

◇地域力強化推進事業（地域福祉支え合い推進事業「CSW 設置事業 地域福祉力アップ推進事業」）

① CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の設置

地域福祉課職員6名をCSWとして位置づけ、地域住民からの相談を丸ごと受けとめる機能を担い、適切な制度・サービス及び専門機関へのつながりや関係機関・地域住民等と連携して課題の解決に取り組んだ。

② ふくしよろず相談窓口の開設

「分野を問わず丸ごと受けとめる場（窓口）」として社協本所内に開設し、生活する中で起こる様々な暮らしの困りごと・悩みごとについて、まず受けとめる体制を整備した。大田市災害ボランティアセンターの閉鎖に伴い、センターで活用していた電話回線を引継ぎ、専用回線を設けた。設置について広報チラシの全戸配布やケーブルテレビでの音声告知など、積極的に相談窓口の周知・広報活動を行った。

〈開設日〉月曜～金曜 9:00～17:00（祝日および年末年始を除く）

〈受付件数〉167件（平成30年9月11日～平成31年3月31日まで）

課題解決／52件（情報提供や相談対応のみでの終了も含む）

関係機関につないだ／80件

相談支援包括化推進員につないだ／1件

死去・連絡途絶えた等 1件

継続対応中／33件

③ CSW（コミュニティソーシャルワーカー）活動の推進に向けた体制の整備：地域力強化推進ミーティングの設置

「他人事を我が事に変えてくような働きかけ」を意識した既存事業への取組みを組織的に取組むため、CSW間の情報共有や共通認識を図る事を目的として地域力強化推進ミーティングを開催した。（開催実績：2回）

④ 地域福祉力アップ推進事業

福祉委員と民生児童委員が連携して地域ニーズの把握及び情報の収集・共有を行い、課題の解決に向けた地域活動の活発化を図ることを目的として実施した。

〈実施地区〉15地区社協

〈プログラム内容〉

(1)意見・情報交換会…12地区

(2)福祉委員の役割について…1地区

(3)福祉マップづくり…2地区

◇移動・外出支援に関する地域活動助成事業

地域における移動・外出支援に関する地域ニーズの把握及び課題の解決に向けて社協と地区担当職員が連携して取組むことと併せて事業実施に係る経費の助成を行った。

・実践地区 波根、水上、湯里

・実施内容 (1)移動・外出に関する課題の調査・把握のためのアンケート調査
(2)地域の実情に沿った課題解決方法の協議・検討
(3)既存の支援事業の評価、見直しなどによる新たなしくみへ向けた協議

(2) 住民自主組織の活動支援

◇ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業

- ・指定サロン／1サロン（川合町：縄手元気会）
- ・平成30年度末現在のサロン総数／130サロン

◇ふれあい・いきいきサロン研修会の実施

- ・開催日 平成30年11月12日（月）参加者135名
- ・会場 大田市民センター4階
- ・内容 講師：木村 真介氏（グループワークトレーニング上級アドバイザー）
演題：「楽しいをつくる」のすすめ パート2

◇大田市介護予防活動市民大会「サロン大交流会」

- ・開催日 平成30年12月20日（木）参加者166名
- ・会場 大田市民会館 大ホール
- ・内容 (1)回想法講演会「思い出かたりは元気のもと」
講師：鈴木 正典氏（出雲市民病院麻酔科部長）
(2)介護予防体操指導「0854－8体操」
講師：和田 康志氏（大田市立病院 理学療法士）
講師：山崎 朋子氏（健康運動実践指導者）

◇地域介護予防活動支援事業

①介護予防活動実施申請団体：163団体

No.	地区	団体数	申請団体	No.	地区	団体数	申請団体
1	大田	10	大田町社協	14	大屋	2	地区社協
		2	まちづくり推進協議会	15	久利	8	まちセン運営委員会
2	川合	8	ふるさとづくり21推進協議会	16	大森	7	まちセン運営委員会
3	池田	4	地区社協	17	水上	9	地区社協
4	志学	6	地区社協	18	祖式	4	地区社協
5	北三瓶	6	地区社協	19	大代	5	地区社協
6	富山	3	地区社協	20	温泉津	3	まちセン運営委員会
7	朝山	2	地区社協	21	福波	5	地区社協
8	波根	4	地区社協	22	湯里	6	まちセン運営委員会
		2	まちセン運営委員会	23	井田	4	まちセン運営委員会
9	久手	7	まちセン運営委員会	24	仁万	4	地区社協
10	長久	12	まちセン運営委員会			2	まちセン運営委員会
11	鳥井	9	地区社協	25	宅野	2	まちセン運営委員会
12	静間	5	地区社協	26	大国	7	まちセン運営委員会
		4	まちセン運営委員会	27	馬路	2	地区社協
13	五十猛	9	地区社協	合 計		163	

②ふれあいいきいきサロン・介護予防活動団体交流会

- ・開催日 平成30年6月19日（火）参加者134名
- ・会場 大田市民センター 4階
- ・内容 (1)「歌って心ほぐし体ほぐし」講師：山根 澄子氏（元教諭）
(2)情報交換と交流

③元気づくりプログラム研修事業

参加しやすい研修会とするため市内4か所で開催した。

- 大田会場／大田市民センター 7月20日（金）
- 朝山会場／朝山まちセン 7月24日（火）
- 川合会場／川合まちセン 7月30日（月）
- 湯里会場／湯里まちセン 8月 3日（金）
- ・参加者 延べ126名
- ・内容 「歌って健康 みんなで笑顔」講師：山根 澄子氏（元教諭）

◇子育て支援団体連絡会への支援

サロン活動者に子育てサークルや関係機関を加え、当事者同志の意見交換を主とした活動内容で、子育て支援に関する課題を発掘し、行政や社協等とともにその対策に協働で努めていくものであり、当事者の声を主体とした有効な組織体として「大田市子育て支援団体連絡会」を開催した。

- ・開催日 平成30年12月4日（火）参加者50名
- ・参加団体 サロン団体・サークル団体・行政・関係機関等

◇生活支援体制整備事業

市内各地域での生活支援に関する協議会の設置・運営、事業の実施について、大田市及び関係機関と連携して取組みの支援を行うと共に、地域での支え合いの地域づくりに向けた意識啓発を目的とした研修や説明を積極的に実施し、新たに5地区で協議体が設置され、市内の協議体設置数は17地区となった。

①市内各地区への訪問及び相談対応実績

地区での協議会設立に関する相談への対応、検討・協議、研修会の開催のほか、協議会主催の会議等へ参加した。

また、協議体設立後の組織運営や新たな取組みなどについての相談に対応し、事業の円滑な運営の支援を行った。

- ・訪問地区数／20地区
- ・延べ訪問回数／167回
- ＜会議・研修等への参加＞ 96回
- ＜相談・打合せ等の訪問＞ 71回

②協議会の設置状況（平成 31 年 3 月末日現在）

地区名	協議会の名称	協議会の設立日	コーディネーター数
川 合	川合地域ささえあい協議会	平成 28 年 10 月	1 名
波 根	波根地域ふれあい協議会	平成 28 年 8 月	2 名
湯 里	ゆさと元気会	平成 28 年 10 月	2 名
久 利	久利まちづくり推進協議会	平成 28 年 10 月	1 名
井 田	井田なごみ園	平成 28 年 12 月	5 名
福 波	福波ささえあい協議会	平成 29 年 3 月	2 名
大 国	元気おおぐに推進協議会	平成 29 年 4 月	2 名
池 田	池田すこやかクラブ協議会	平成 29 年 6 月	2 名
長 久	長久地域ふれあい協議会	平成 29 年 8 月	1 名
温泉津	温泉津ふれあい協議会	平成 29 年 12 月	2 名
久 手	久手町ささえあい協議会	平成 30 年 1 月	2 名
宅 野	宅野生活支援協議会	平成 30 年 2 月	2 名
大 屋	大屋介護予防協議会	平成 30 年 10 月	3 名
志 学	志学まちづくり推進協議会	平成 30 年 11 月	3 名
仁万天河内	仁万・天河内ふれあい協議会	平成 30 年 12 月	3 名
五十猛	五十猛いきいき協議会	平成 30 年 12 月	2 名
大 代	大代えびすの会	平成 31 年 3 月	1 名

③生活支援コーディネーター情報交換会の開催

協議会に配置された第 2 層生活支援コーディネーター相互情報交換と関係機関との連携を目的とした情報交換会を開催した。

- ・開催日 毎月 1 回（月末の金曜日に開催）
- ・内 容 市及び市社協からの連絡事項、意見交換（通いの場プログラム紹介、実施事業の成果や課題等情報交換）、レク講座

④スタッフ研修会の開催

協議体のコーディネーター及び事業スタッフを対象として事業の共通理解を目的に研修会を開催した。グループ協議を中心に研修を行い、活発な意見が出された。

- ・第 1 回スタッフ研修会
開催日 平成 30 年 5 月 25 日（金）参加者 59 名
内 容 介護予防体操の効果と検証
- ・第 2 回スタッフ研修会
開催日 平成 30 年 8 月 31 日（金）参加者 76 名
内 容 閉じこもりの予防について

- ・第3回スタッフ研修会

開催日 平成30年12月3日（月）参加者63名

内 容 高齢者の低栄養と利用者アンケート調査の結果について

- ・第4回スタッフ研修会

開催日 平成31年1月25日（金）参加者95名

内 容 高齢者のお口の健康と介護予防

◇レクリエーション用具等貸出し事業

①学校及び地域に対して福祉体験学習用品（疑似体験等）貸出し／16件

②軽スポーツ・レクリエーション用具貸出し／189件

③機材等の貸出し／83件

（3）住民相互の助け合い意識の啓発とつながりづくり

◇地域研修事業の実施

地区社協と地区担当職員が連携し、地域での福祉活動に関する研修事業を実施することにより、地域福祉事業に対する理解と地域住民の積極的な参加の啓発を図った。

〈実施地区〉 27地区社協

〈実施内容〉 (1)福祉委員活動に関する研修：8地区社協

(2)災害に関する研修：5地区社協

(3)社協の役割・地域づくりに関する研修：5地区

(4)生活支援体制整備事業研修：3地区

(5)福祉マップに関する研修：2地区社協

(6)その他の研修：4地区

〈研修参加者〉 延べ592名

◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携

「高齢者の見守り活動に関する協定」に基づき、高齢者一人世帯の見守りを新聞販売店、民生児童委員などの関係団体と連携し行った。

〈対応件数〉 1件

（4）地域福祉活動への住民及び施設・団体等の参加促進

◇障がい者社会参加促進事業の実施

①障がい者スポーツ大会の実施

大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し、三障がい合同のスポーツ大会を実施した。

実施日：平成30年9月7日（金）

会 場：大田総合体育館

参加者：230名（身体障がい者36名、知的障がい者98名、精神障がい者63名、手話通訳・施設職員・ボランティア・スタッフ33名）

②生活訓練事業の実施

(1)視覚障がい者の集い

大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。日頃1人では遠方や行き慣れない場所へ外出することが困難な視覚障がい者の社会参加と移動介助ボランティアとの交流が図られた。

実施日：平成30年5月20日（日）

行 先：ガラスの里（広島県）

参加者：30名（視覚障がい者14名、ボランティア・スタッフ16名）

(2)バスハイキング事業

大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。身体障がい者やその家族の社会参加と移動介助ボランティアとの交流が図られた。

実施日：平成30年10月19日（金）

行 先：水木しげるロード（鳥取県）

参加者：73名（障がい者・家族56名、ボランティア・スタッフ17名）

(3)障がい者との体験ツアー

大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し実施した。ボランティアの方に協力いただき、障がい者との交流を深めながら見学・散策を行った。

実施日：平成30年11月18日（日）

行 先：とっとり花回廊（鳥取県）

参加者：118名（障がい者・家族92名、手話通訳・ボランティア・スタッフ26名）

(4)身体障がい者パソコン教室

大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。個々のレベルと要望に沿った内容とし協会員のパソコン愛好者によるマンツーマンでの指導を行ったことで、より受講者のスキルアップにつながった。

実施日：平成30年11月6日（火）～9日（金）の4日間

会 場：島根中央地域職業訓練センター1階パソコン教室

受講者：身体障がい者4名

(5)福祉講演会

大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。

実施日：平成31年3月2日（土）

会 場：大田市民会館2階第1会議室

参加者：48名（身体障がい者33名、一般参加4名、講師1名、出演者6名、手話通訳・スタッフ4名）

内 容：講演会 演題／「暮らしを支えるリハビリテーションの視点」
講師／島根県作業療法士会会長 小林 央 氏

アトラクション出演団体：大田ハーモニカクラブ

◇障がい者週間啓発事業の開催(人権週間啓発事業との共催)

大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し、人権週間・障がい者週間啓発事業として「ふれあいフェスティバルおおだ」を開催した。

実施日：平成30年12月9日（日）

会 場：サンレディー大田ふれあいホール

講 演：講師 大胡田 誠 氏（弁護士）

来場者：約500人

（手話通訳3名、要約筆記4名、移動介助ボランティア5名）

◇健康・生きがいきづくりフェスティバル開催支援

大田市内でのスポーツ大会等（グラウンドゴルフ、ゲートボール、ダイヤゾン・ボール、サイクリング、健康マラソン、ターゲットバードゴルフ、将棋）の健康・生きがいきづくりを目的として開催される大会について助成及び支援を行った。

実施団体：7団体（大会参加者：262名）

◇社会福祉法人地域公益活動の推進

社会福祉法人の地域における公益的な取組みについて、準備会委員の参加を得て準備会を開催し、今後のスケジュール等各種協議事項について協議した。

開催日 平成31年2月22日（金）

場 所 大田市民センター2階 社協会議室

参加団体 7団体（構成委員数11名）

◇老人福祉センター管理運営事業

①大田老人福祉センター

・利用団体総数 701団体

・利用者総数 18,839名

②仁摩老人福祉センター（びしゃもん）

・市内入湯者数3,812名（老人：3,181名、大人：605名、小人：26名）

・市外入湯者数 8名（大人：8名）

・施設利用団体総数 112団体

・収入合計 910,655円

（5）共同募金運動への協力

募金運動に協力し、集まった募金を各地区社協・福祉事業実施団体・当事者組織等へ事業助成を行った。（助成一覧：別紙1参照）

・助成金配分実績額 6,710,388円

(6) 団体等事務局の受託

- ・大田市身体障がい者福祉協会
- ・大田市障がい者関係団体連絡協議会
- ・大田市民生児童委員協議会
- ・日本赤十字社島根県支部大田市地区
- ・大田市共同募金委員会

推進目標2 在宅生活の自立を支える活動の推進

(1) 関係機関との連携による相談体制の充実

◇大田市福祉総合相談事業

①一般相談（開設日以外でも随時対応）

〈開設日〉 本 所／毎週火曜日（第2火曜日除く）10：00～15：00

支 所／毎月第1・第3火曜日 10：00～15：00

〈相談状況〉

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	25	34	32	37	37	22	40	38	42	45	41	47	440
(内新規)	11	18	18	26	15	8	27	21	18	23	22	20	227
支援延数	59	68	50	77	80	68	109	102	118	101	98	134	1,064

②専門相談（司法書士相談）

〈開設日〉 本所：毎月第2火曜日 10：00～12：00

〈相談件数〉 10件

〈相談内容〉

内容	離婚	苦情	土地・家屋	債務	相続
件数	1	1	4	1	3

③石見法律相談センター相談会

(1)面談相談（予約制）

〈開設日〉 毎月1回 10：00～15：40

〈相談件数〉 74件

(2)パソコン法律相談（予約制）

〈開設日〉 毎週金曜日 10：00～15：40

〈相談件数〉 14件

〈相談内容〉

内容	金銭等民事	不動産	家族・親族	行政事件	刑事事件	その他民事
件数	6	3	3	0	1	1

④関西大学法科大学院出張法律相談

〈開設日〉平成30年9月3日（月）

〈場 所〉大田市民会館

〈相談件数〉10件

（２）包括的支援の充実

◇生活困窮者に対する支援（生活サポートセンターおおだの取組み）

経済的困窮や社会的孤立などの様々な課題を抱える地域住民からの相談に応じ、関係者・関係機関等との連携を図りながら、社会的経済的な自立に向け本人の意向を踏まえながら、本人の状況に合わせて、包括的・経済的に支援を行った。

〈新規相談者数〉15名（男性：10名、女性：5名）

〈支援計画（プラン）件数〉3件

〈相談状況〉

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	10	13	13	18	18	6	15	14	13	13	9	9	151
（内新規）	1	3	1	4	1	1	0	2	0	0	1	1	15
支援延数	28	33	46	53	108	42	94	65	106	99	40	35	749
支援調整 会議（回）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
プラン 作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3

◇資金貸付事業

生活課題の改善・解決に向け、必要な生活資金を融資し、世帯の自立支援を行った。

①生活福祉資金貸付（実施主体：県社協）

〈対 象〉高齢者、障がい者、低所得者世帯

〈業 務〉資金相談（借入相談、申請支援、生活相談、償還指導等）

〈相談件数〉418件

〈平成30年度貸付決定数と貸付金額〉

10件 16,090,000円（前年度7件 4,373,000円）

資金種類	件数	金 額(円)	備 考
総合支援資金	0	0	
福祉資金(福祉費)	4	9,062,000	技能習得経費:2件(専門学校進学費用:2件) ※母子父子寡婦福祉資金併用:1件 住宅改修費:2件
福祉資金(緊急小口資金)	1	85,000	生活費(給与までのつなぎ)
教育支援資金	5	6,943,000	大学:1件 専門:3件 高校:1件 ※母子父子寡婦福祉資金併用:3件 育英会併用:1件 学生支援機構併用:1件
不動産担保型生活資金	0	0	資金交付中:1件
合 計	10	16,090,000	

②民生融金貸付（生活資金・緊急現金）

〈対 象〉生活困窮状態

〈業 務〉資金相談（借入相談、生活相談、償還指導等）

〈貸付実績〉13件 210,000円（前年度23件 345,000）

〈使途別の件数と貸付金額〉

種 別	使 途	件数	金額（円）	備 考
生活資金（5万円以内）	生活保護のつなぎ	0	0	
	生活福祉資金のつなぎ	0	0	
	年金のつなぎ	0	0	
	給与のつなぎ	1	50,000	
	その他	1	50,000	住宅入居資金
緊急現金（1万円以内）		11	110,000	
合 計		13	210,000	

〈平成30年度償還状況〉

(1)償還件数・金額／43件 294,000円

(前年度51件 325,000円)

(2)償還完了件数／19件（前年度 22件）

③フードバンク事業（寄付食料品備蓄による困窮者への食料支援）

〈主な寄付食料品〉米、カップ麺、レトルト食品、缶詰等

〈食料寄付件数〉30件（団体5件、個人25件）

(前年度50件 ※内訳：団体6件、個人44件)

〈食料支援件数〉118件（生保世帯等含む。前年度124件）

◇多機関の協働による包括的支援体制構築事業（地域福祉支え合い推進事業「総合的な相談支援体制づくり事業」）

①事業推進プロジェクト会議の設置

市と連携・協働し、本事業を進めていくため、事業推進の方針決定や、組織体制の整備、計画的な事業実施、事業の進捗管理等を行うことを目的として設置した。

〈構 成 員〉市地域福祉課2名（地域福祉課長、地域福祉係長）

社会福祉協議会8名（事務局長、総務課長、地域福祉課長、生活支援課長、各課職員1名、事業担当者）

〈開催実績〉10回

②大田市地域福祉推進支援機関代表者会議（相談支援包括化推進会議）の設置

大田市生活困窮者自立相談支援事業及び地域福祉支え合い推進事業の実施

に際して、関係機関その他の支援機関が相互に連携を図り、当該事業を効率的かつ効果的に推進することを目的として設置した。

〈開催実績〉1回（準備会）

〈構成員〉

分 野	機 関 名
雇用・就労	石見大田公共職業安定所
	労協しまね事業団
	ジョブ亀の子
障がい者	地域生活支援センターせいふう
	亀の子サポートセンター
保健・難病・自死対策	島根県県央保健所
医 療	大田市立病院
	石東病院
子育て	おおだ子育て支援センター
児 童	島根県浜田児童相談所
ひきこもり・子ども若者	ほっとスペース・ゆきみーる
人権・多文化共生	島根県女性相談センター
	おおだふれあい会館
司 法	法テラス島根
防犯・救急	大田警察署
	大田市消防本部
住まい	大田宅建センター
地域経済	大田商工会議所
	銀の道商工会
	大田金融会
福 祉	大田市民生児童委員協議会
	大田市社会福祉協議会
生活困窮・家計支援	生活サポートセンターおおだ
権利擁護	大田市成年後見支援センター
高齢者・介護	大田市地域包括支援センター
消費者	大田市消費者問題研究協議会
学識経験者	島根大学人間科学部 加川充浩准教授
行 政	大田市役所

③大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の設置

本事業の実施に際して、関係機関その他の支援機関が相互に連携を図り、当該事業を効率的かつ効果的に推進することを目的として設置し、複合的な地域生活課題を抱える困難事例の対応検討を行った。

〈開催実績〉1回

<構成員>

相 談 支 援 機 関 名
大田市福祉事務所 大田市健康増進課 大田市地域包括支援センター 障がい者地域生活支援センターせいふう 亀の子サポートセンター 大田市社会福祉協議会 （生活サポートセンターおおだ） （大田市成年後見支援センター） その他ケースに応じて相談支援包括化推進員が事例提供者との協議の下決定した機関（者）

④相談支援包括化推進員の配置

多分野にわたる相談支援機関が協働し、包括的な支援体制を構築していくため、総合的なコーディネートを担う「相談支援包括化推進員」を大田市社会福祉協議会と大田市福祉事務所に各1名ずつ配置した。相談支援包括化推進員は、各相談支援事業者やCSWから多機関協働が必要と思われる支援困難ケースについて相談を受け、実務者会議を招集し、複合的な地域生活課題抱える困難事例の対応検討を行った。

⑤相談管理システムの導入

多様な相談を適切に管理し、相談経過等の共有を効率的に行うため、相談管理システム「ゆめと」を平成31年3月より導入した。導入にあたり、プロジェクト会議において相談受付表フォーマットを作成した。

（3）個別課題に基づく地域づくり

◇こころのたより発送事業

大田市民生児童委員協議会との共催で、市内在住の75歳以上の一人暮らし高齢者、夫婦とも80歳以上の高齢者夫婦世帯に、声かけ・見守り等の安否確認を行なうことを目的に暑中見舞いとしてハガキを届けた。

<対象者>1,980名

◇重度身体障がい者移動支援事業の実施

ボランティア（運転者・補助員）によるリフト付自動車での外出支援を行った。

<利用登録者数> 141名（※休止中の方も含む）

※新規利用登録者6名

<稼働日数> 174日

<利用者数> 15名

<年間利用者数> 延187名

<ボランティア> 30名（運転者・補助員：明星の会）

<ボランティア活動実績> 延363名

<運行用務> 病院へ受診リハビリ、買い物等

◇学生服等再活用事業

不用となった学生服等を寄付していただき、必要とされる方に提供し、子育て家庭の負担軽減、資源の有効・循環利用を推進した。

〈対象物〉 市内の小・中学校及び近隣高校の制服、体操服、柔道着

〈寄付者及び寄付物〉 20名から70件

〈寄付物内訳〉 学生服：41件、体操服：12件、柔道着：4件、
その他：13件)

〈制服等準備することが難しい家庭への提供数〉 1世帯

◇福祉委員活動の推進（再掲）

（４）当事者団体などへの支援

◇大田市身体障がい者福祉協会事務局受託

本会に事務局を設置し、活動の周知・会員の生きがいをづくり活動の推進を図った。

◇大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託

本会に事務局を設置し、大田市内の障がい者施設と連携を図り、各種事業を推進した。

◇大田市シニアクラブ連合会活動支援

大田市シニアクラブ連合会が実施する各種事業へ協力し、円滑な事業運営を支援した。

◇福祉バス運行事業

社会福祉活動を推進するため福祉団体の活動等へ福祉バスを運行し、各種事業参加に対しての利便を図った。

〈利用団体数〉 42団体

〈運行回数〉 134回

◇家族相談員紹介事業

障がいがある方が地域で生活していくうえでの不安や家族間での悩みなどについて、当事者家族相談員が受けとめる相談会を大田地域家族会親和会（亀の子内）へ依頼し行った。

〈年間相談件数〉 120回

推進目標3 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア人材の養成とスキルアップ

◇ボランティア交流事業

・第3回縁カフェおおだ

実施日 平成30年6月2日(土)
会 場 大田市民会館2階第一会議室
参加者 12名

・第4回縁カフェおおだ

実施日 平成31年3月10日(日)
会 場 大田市民センター4階軽運動室
参加者 30名

◇奉仕員養成事業(手話・点訳・音訳)

①手話奉仕員養成講座(前期日程:全21回)

実施日 平成30年6月13日(水)～平成31年3月27日(水)
会 場 大田市民センター2階社会福祉協議会会議室
受講者 9名

②点訳奉仕員養成講座(全12回)

実施日 平成30年9月8日(土)～平成31年2月23日(土)
会 場 大田市中央図書館2階会議室
受講者 3名

③広報音訳ボランティア養成講座(全5回)

実施日 平成30年7月14日(土)～平成30年8月26日(日)
会 場 大田市民センター1階機能訓練室
受講者 9名

◇地域福祉活動サポーター養成事業

①聞こえのサポーター養成講座

〈講座の内容〉 講義①「聴覚障がいについての基礎知識」
講義②「当事者の体験談」
講義③「筆談と要約筆記について」
演 習「筆談体験」

〈開催日〉第1回:平成31年2月3日(日) 受講者13名
会場/大田市民センター

第2回:平成31年3月17日(日) 受講者11名
会場/島根中央地域職業訓練センター

②移動介助ボランティア養成講座

実施日	平成30年11月6日（火）
会 場	石見銀山世界遺産センター
受講者	13名
内 容	講義①「身体障がい（視覚障がい、肢体不自由）の基礎知識」 講義②「当事者の体験談」 演 習「移動介助に必要な知識及び技術の習得について」

◇ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア講座受講者への情報提供と活動支援を行った。

- ・団体及び施設行事へのボランティア依頼／10件（活動者延べ73名）
- ・食育活動ボランティア依頼／83件

（2）ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化

◇ボランティア・市民活動センターの運営（再掲）

◇ボランティア活動支援事業

精神保健ボランティア団体うさぎの会の活動に対して支援、助成を行った。

〈活動内容〉石東病院及び亀の子での利用者との交流、会報の発行など

◇緩和ケア啓発事業への助成・支援

がんなどの病気において、発見から終末までの苦痛や精神的な不安などをやわらげ、その人らしく生きられるように医療・保健・福祉サービスが一体的に提供されるよう、自主活動グループ「緩和ケアネットワーク大田」の構成団体として活動に取り組んだ。

〈構成団体〉医療機関、民間団体、訪問看護ステーション、介護保険事業所、地域包括支援センター、行政機関、一般住民等 会員50名

〈活動内容〉緩和ケアの啓発活動

①「緩和ケアを考えるつどい」の開催

期 日 平成30年11月11日（日）

会 場 サンレディー大田

テーマ 人生最後をどうしたい？～伝えよう自分の思い～

講 師 安芸市民病院緩和ケア部長兼地域連携室担当医 松浦 将浩氏

②「石見銀山がん哲学外来ミニカフェ」の開催

期 日 平成30年7月8日（日）、9月2日（日）、10月14日（日）
12月2日（日）、平成31年1月13日（日）、2月3日（日）、
3月3日（日）

会 場 大田市民センター機能訓練室

内 容 ネットワーク会員と当事者とのグループトーク

◇ボランティア保険に関する手続き事務

- ・ボランティア活動保険／2, 606名（事故対応 2件）
 - ＜Aプラン＞ 1, 609名
 - ＜Bプラン＞ 158名
 - ＜天災A＞ 813名
 - ＜天災B＞ 26名
- ・送迎保険／27件（事故対応 0件）
- ・ボランティア行事用保険／ 923件（事故対応 1件）
- ・福祉サービス総合保障 / 21件（事故対応 0件）

◇収集ボランティア活動の推進

毎日の暮らしの中で簡単・手軽に取り組める収集ボランティア活動の推進を図った。

- ・使用済み切手／39件
送付先：誕生日ありがとう運動本部（障がい者福祉活動の啓発）
- ・プルタブ／56件
送付先：大田高校JRC部「プルタブを集め車イスに交換活動」
- ・ペットボトルのキャップ／40件
送付先：NPO法人エコキャップ推進協会（内閣府認証）に送付

◇民間助成事業(愛のともしび募金等)に関する情報提供

- ・民間助成ニュース速報（月2回）を関係機関へ周知
- ・申請希望団体への申請に係る支援
- ・申請時の相談、助言及び団体推薦書等の作成：2件
- ・山陰中央新報社会福祉事業団 「愛のともしび募金」助成事業申請事務
※大田市から8団体申請し3団体が採択

(3) 災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化

◇災害ボランティア活動の推進

県社協が主催する災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座への参加。

- | | |
|------|--|
| 開催日 | 平成30年8月23日（木）～24日（金） |
| 会 場 | 雲南市社会福祉協議会等 |
| 主な内容 | (1)災害ボランティアセンターの運営についてロールプレイ
(2)大田市災害ボランティアセンターにおける実践報告 |

◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣

- ・福祉専門職登録者数：4名（社会福祉士）

- ・研修会への参加：「しまね DCAT 訓練研修スキルアップコース」

平成31年1月21日（月）（会場/松江合同庁舎）

◇大田市災害ボランティアセンターの開設

平成30年4月16日に発生した大田市を震源とした島根県西部地震において、被災された世帯への支援のため災害ボランティアセンターを開設し、ボランティアによる活動を実施した。

開設期間／平成30年4月12日（木）～平成30年9月10日（月）

開設場所／大田市民会館1階ホワイエ（4月12日～6月2日まで）

大田市社会福祉協議会会議室（6月3日～9月10日まで）

活動状況（平成31年3月31日末現在）

(1)相談件数：807件

(2)活動件数：658件

(3)延活動者：4,163名

◇島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定に基づき、被災地へ職員を派遣し災害ボランティアセンターの運営支援を行った。

県内：江津市、美郷町、川本町

県外：広島県三原市、東広島市、岡山県倉敷市

◇災害訓練等への協力

地域で開催される防災訓練に参加した。（川合町）

推進目標4 福祉の心・人材の育成

（1）住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりのために、住民一人ひとりが相互理解を図り、人と人とのつながりの大切さや地域生活課題と向き合い、自分にできることは何かを考えることをねらいとして地域及び学校での福祉教育の推進を図った。

◇体験学習や交流を通じた障がい者や高齢者への理解促進

＜小学校＞

実施校数／5校（累計実施回数13回）

対象人数／延べ253名

内 容／障がいについて（障がいの理解、体験学習）、高齢者疑似体験

＜中学校＞

実施校数／1校（実施回数2回）

対象人数／延べ148名

内 容／高齢者疑似体験、大田市の高齢者の状況について

〈高 校〉

実施校数／ 1 校

対象人数／ 1 6 0 名

内 容／あいサポート研修

◇チャレンジ・ザ・ボランティア in サマーの実施

夏休み期間中に市内の様々な福祉関係事業所において、中高生を対象としたボランティア体験活動を実施した。

〈参加者数〉 2 8 名（中学生：1 8 名、高校生 1 0 名）

〈活動協力先〉 保育園 2 カ所、放課後児童クラブ 2 カ所、
障がい者就労支援事業所（就労継続支援 B 型） 1 カ所、
高齢者デイサービス事業所 1 カ所

◇地域研修事業（再掲）

◇福祉委員活動の推進（再掲）

（2）ライフステージに応じた福祉教育の推進

地域・学校及び企業等へ向けた福祉教育の推進

◇体験学習や交流を通じた障がい者や高齢者への理解促進（再掲）

◇生活支援体制整備事業（再掲）

◇地域福祉力アップ推進事業（再掲）

◇あいサポート運動の推進

障がいのある方への必要な配慮などの理解、障がいのある方に対してのちょっとした手助けなどについて意識啓発を図った。

〈受講者数〉 2 8 9 名

◇福祉委員活動の推進（再掲）

（3）福祉に関する情報提供及び啓発の推進

◇障がい者週間啓発事業の開催（人権週間啓発事業との共催）（再掲）

◇福祉器具の貸出

〈車いすの貸出し〉高齢者や障がい者、また怪我治療中の方に車いすを貸出した。

貸出件数／ 2 5 件（※貸出し述べ台数 3 1 台）

◇点字・声の広報の発行

①点字広報の発行

点訳サークルたんぽぽに依頼し広報誌や文書の点訳を行った。

〈実施回数〉 毎月 1 回（1 2 回実施）

〈配布数〉 1 回あたり 2 部作成

②音訳広報の発行

広報音訳グループ「ベルの会」に依頼し実施した。(1回あたり17人に配布)

- ・広報おおだ 年12回(月1回)
- ・市議会だより 年4回(5月、7月、10月、1月)
- ・社協だより 年6回(4月、6月、8月、10月、12月、2月)
- ・身障の友大田 年3回(6月、11月、3月)
- ・暮らしの情報、健康診断や不燃物収集等の年間予定表 年1回

推進目標5 権利擁護の推進

(1) 権利擁護体制の充実

①福祉サービス利用援助事業

◇日常生活自立支援事業(県社協委託事業)

判断能力に不安を感じる方との契約に基づき、その人の意思決定を支える福祉サービス利用援助等を関係機関と連携し行った。

(1) 支援計画作成

サービス内容／福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かり、見守り等

(2) 関係機関との連絡調整

- ・利用件数 99件(前年度102件)

〔新規利用件数 19件
終了件数 22件〕

※終了理由(死亡7件、施設入所6件、親族引取2件、後見移行7件)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
32	26	37	4	99

※その他4件(高次脳機能障がい)

※生活保護38件(前年度38件)

※利用料一部免除1件

- ・相談件数 3,819件(前年度3,066件)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
1,182	1,277	1,214	146	3,819

(3) 生活支援員研修会(生活支援員:登録者45名)

- ・第1回生活支援員研修会(県社協主催)への参加

期 日 平成30年9月10日(月)

場 所 いきいきプラザ島根(松江市)

参加者 11名

内 容 事務局説明／日常生活自立支援事業の現状

講 義／知的障がい者の特性理解と対人援助

講 師／米山 和夫氏(社会福祉法人喜和会太陽の里)

・第2回生活支援員研修会（市社協主催）

期 日 平成30年12月18日（火）

場 所 大田市民センター

参加者 15名

内 容 研 修／支援手順の再確認、伝達方法演習

講 師：大田市社会福祉協議会 専門員

②法人後見事業（法人による成年後見制度への取り組み）

家庭裁判所からの依頼や市長申立て等で法人による後見等が必要な方の財産管理と身上監護等の後見業務を行った。

(1)法人後見運営委員会

開催回数／1回（受任の適否審議） 可1件

(2)出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加

(3)法人後見の受任

受任件数／3件（男性3名）※新規受任件数1件、終了件数0件

類型	受任 件数	区 分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	施設等
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	0	0	0	0	0	0	0
後見	3	0	2	0	0	1	0
合計	3	0	2	0	0	1	0

※在宅の方は、現在入院中での後見業務

③大田市成年後見支援センター事業

(1)大田市成年後見支援センター運営委員会（委嘱委員12名）

〈開催日〉 第1回／平成30年6月4日（月）大田市民センター多目的室

第2回／平成31年2月15日（金）割烹 はたの

(2)大田市市民後見人登録審査委員会

〈委嘱委員〉 7名

〈開催日〉 第4回目／平成30年5月28日（月）社協会議室

〈審査対象者〉 12名（全て承認。バンク登録延40名）

(3)市民後見人人材バンク交流会の開催（バンク登録者フォローアップ研修を兼ねる）

・平成30年8月25日（土）

成年後見制度フォーラム参加（開催地：松江テルサ）

内容：「意思決定支援を考える」をテーマに基調講演及びパネルディスカッション

・平成30年12月18日（火）「市民後見人人材バンク交流会」

・平成31年2月9日（土）～10日（日）

全国権利擁護支援ネットワーク全国フォーラム参加（開催地：福岡県久留米市）

内容：「権利擁護支援と地域連携ネットワークの在り方」をテーマにパ
ネルディスカッション

(4)市民後見人の推薦

推薦5名 内選任5名 累計市民後見人20名

(5)成年後見制度・私のあんしんノート出前講座

開催回数／4ヶ所

参加者／87人

(6)大田市成年後見支援センター相談件数及び専門職候補紹介件数

相談件数：11件

紹介件数：9件

(7)その他

- ・市民後見人の監督及び推薦時の面接立会
- ・松江家庭裁判所出雲支部で開催された「家事関係機関との連絡協議会」に出席
- ・松江家庭裁判所で開催された「家事関係機関との連絡協議会」にて大田の事例報告

(2) 福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携

◇大田市地域医療支援対策協議会との連携

◇大田市障がい者自立支援協議会との連携

◇大田市保健対策推進協議会（自死対策ネットワーク会議）との連携

推進目標6 組織体制の強化

(1) 広報活動の充実

◇社協だより発行（偶数月・年6回）

◇ホームページによる情報提供（市社協アドレス：WWW. Ohda-shakyo. jp）

◇点字・声の広報の発行（再掲）

◇ケーブルテレビなどの広報媒体の活用

ケーブルテレビなどの広報媒体を活用し、事業等の周知に努めた。

(2) 事業推進体制の強化

①理事会の開催

◇第1回

- ・期 日 平成30年6月7日（木）10：00
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1)平成29年度事業報告について
(2)平成29年度収支決算について
(3)平成30年度定時評議員会の招集について

- (4)評議員候補者の推薦について
- (5)評議員選任・解任委員会の招集について

◇第2回

- ・期 日 平成30年7月13日（金）
- ・協議事項 (1)常務理事の選定について

◇第3回

- ・期 日 平成30年12月21日（金） 15：30
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1)平成30年度資金収支補正予算（第1号）（案）について
(2)定款細則の一部改正について
(3)就業規則の一部改正について
(4)職員給与規程の全部改正について
(5)平成30年度第2回評議員会の招集について
(6)評議員候補者の推薦について
(7)評議員選任・解任委員会の招集について
(8)生活困窮者自立相談支援事業等実施要綱（案）の制定について
(9)大田市地域福祉推進支援機関実務者会議設置要綱（案）の制定について
(10)規程管理規程の一部改正について

◇第4回

- ・期 日 平成31年3月8日（金）
- ・協議事項 (1)平成30年度第3回評議員会の招集について

◇第5回

- ・期 日 平成31年3月26日（火） 10：00
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1)平成30年度資金収支補正予算（第2号）（案）について
(2)平成31年度事業計画（案）について
(3)平成31年度資金収支予算（案）について
(4)事務局規程の一部改正について
(5)ふくしよろず相談事業実施要綱（案）の制定について
(6)規程管理規程の一部改正について

②評議員会の開催

◇第1回

- ・期 日 平成30年6月28日（木） 10：00
- ・場 所 大田市民会館 中ホール
- ・協議事項 (1)平成29年度事業報告について

(2)平成 29 年度収支決算について

(3)理事の選任について

◇第 2 回

- ・期 日 平成 31 年 1 月 11 日（金） 10：00
- ・場 所 大田市民会館 中ホール
- ・協議事項 (1)平成 30 年度資金収支補正予算（第 1 号）（案）について
- ・報告事項 (1)定款細則の一部改正について
(2)就業規則の一部改正について
(3)職員給与規程の一部改正について
(4)生活困窮者自立相談支援事業等実施要綱の制定について
(5)大田市地域福祉推進支援機関実務者会議設置要綱の制定について
(6)規程管理規程の一部改正について

◇第 3 回

- ・期 日 平成 31 年 3 月 28 日（木） 10：00
- ・場 所 大田市市民会館 中ホール
- ・協議事項 (1)平成 30 年度資金収支補正予算（第 2 号）（案）について
(2)平成 31 年度事業計画（案）について
(3)平成 31 年度資金収支予算（案）について
- ・報告事項 (1)事務局規程の一部改正について
(2)ふくしよろず相談事業実施要綱の制定について
(3)規程管理規程の一部改正について
(4)内規の制定について

③監査会の開催

- ・監査対象期間 平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日
- ・期 日 平成 30 年 5 月 23 日（水） 9：30
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・内 容 平成 29 年度大田市社協事業及び会計監査

④苦情解決のための第三者委員への苦情、相談

- ・件数 0 件

⑤職員の専門性向上と資格取得促進

- ・社会福祉士（通信） 1 名受講中
- ・精神保健福祉士 2 名資格取得

（3）財源の確保

- ・会員制度の周知と会員拡大
人口減少、世帯数減、自治会加入率の低下等の要因により、会費は減少。

平成 3 0 年 度

事 業 報 告 書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

社会福祉法人大田市社会福祉協議会